

学校運営計画(4月)				評価(総合)				
学校運営方針		「パワフルキッズ」(様々な課題に積極的に挑戦する意欲をもち、そのために必要な規範意識、自己肯定感、社会性、学力及び体力を有する子供)を育成することを旨とし、子供たちが自己の目標を設定し、達成に向けて仲間と共に行動し、互いの努力を認め合う「パワフルキッズプロジェクト」を推進する。						
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標					
成果：規範意識の向上や自己肯定感の高まりが見られ始めた。 課題：パワフルキッズプロジェクトの活性化、実態差に対応した習熟度別指導の充実、聴覚障がい教育の専門性の継承、業務の効率化	学力・言語力の向上		日本語の読み書きの力の向上を目指した授業改善や、個に応じた指導体制・指導方法の工夫を行う。また、考える力を育てるためのアクティブ・ラーニングの実践や読書活動の充実を図る。					
	コミュニケーション力の向上		話し合い活動や「言葉の時間」の充実を図るとともに、相手の立場を理解して伝えようとする態度を育成する。					
	自己肯定感や規範意識・社会性を高める取組の充実		小・中学部のパワフルキッズタイムの充実を図る。全体計画に基づいたキャリア教育、人権教育、道徳教育及び社会性を高めるためのライフスキルプログラムの実践を行う。また、スクールカウンセラー等の専門家を効果的に活用する。					
	保護者・地域・関係機関との連携の強化		P T A、同窓会や後援会との連携を充実させるとともに、医療・福祉・教育機関への広報及び連携の強化を図る。また、地域の聴覚障がい教育に貢献する。					
教員の専門性の維持・向上		専門性を高めるための職員研修及び学校研究を推進する。						
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題				
教務部	教務課	適切な教育課程の編成と実施のために、教育活動の充実を目指すとともに文書処理等の業務の効率化を図る。	(1) 教材バンクの整備等、教育環境を整えるとともに、外部機関や専門家活用事業を利用して、指導内容の充実を図る。 (2) 校務文書の書式の見直しを行い、文書作成や保管・管理、取り扱い等のマニュアルを整備し、業務の効率化を図る。					
		庶務課	保護者・関係機関との連携を図り、P T A活動の円滑化を図る。本校の教育活動や幼児児童生徒に対する地域への理解啓発を図る。			(3) P T A評議員会等において、効果的、効率的なP T A活動の進め方について検討し、保護者と教職員が分担・協力しながら実施する。 (4) 本校の行事の予告や教育実践についてH Pの更新等を行い、地域へ新しい情報を発信する。		
進路指導部	キャリア教育課		一人ひとりの個性を尊重し、その能力を引き出すとともに自己理解・認識を深めさせ、自己実現を図ることを目指す。	(5) 個々の実態を把握し職員間での共通理解を進めながら、幼小中一貫性のある指導体制の構築を図るため、キャリア教育全体計画を基に実践・検討を行う。 (6) 卒業後を見通した教育課題把握のため、高等聴覚特別支援学校の進路指導担当者や、聴覚障がい者が働く企業の方を招聘しキャリア教育学習会を実施する。				
		生徒指導部	生徒指導課	目標達成に向けて努力する活動を通して、自信と誇り・思いやりをもった心身ともに健康な幼児児童生徒を育成する。			(7) パワフルキッズタイムにおいて、鍛えてほめる活動を仕組み、お互いを認め合い自己肯定感を高めることができる場を設定する。 (8) 生活アンケートの回答を分析し、教育相談週間やカウンセリング体験につなげ、自分の気持ちや悩みを表現できる場を設定する。	
保健課	自他の生命を尊重し、安全な学校生活を送れるよう校内の体制を整備し連携を図る。			(9) 給食配膳時の身だしなみや衛生に関する意識を高めるため、給食オリエンテーションや学級での指導内容の定着を図る。 (10) グランドや遊具の安全点検の方法を見直し、点検項目等の共通理解を図る。				
	支援部	特別支援教育課	聴覚障がい教育の専門性の向上を図る。医療・福祉・教育の各関係機関への広報及び連携の充実を図る。	(11) 研修課と協力し、聴覚障がい教育の基礎的な研修会を企画・実施し、専門性の向上を図る。 (12) 県南地区の自治体の関係部署を訪問し、本校の取組を周知し連携の充実を図る。				
研修課			学校研究を通して書記日本語指導に関する体系を構築し、職員研修を通して専門性の向上を図る。	(13) 学校研究の主題及び研究内容について、方向性を明らかにして全職員に周知を図りながら班別研修を実施し、研究を推進する。 (14) 年間を通して職員研修を計画的に実施し、研修後のアンケートで評価を行う。				
	幼稚部	コミュニケーションの発達を促し日本語の基礎を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着を図り、遊びや生活経験を通して、豊かな心と体を育てる。	(15) 行事や季節に関連する言葉を意識した学習方法の充実を図る。 (16) 幼児が互いに伝え合おうとする場やテーマを設定する。 (17) 幼児の発達段階に応じた集団での運動遊びを計画し、系統的に取り組む。 (18) 集団活動や校外活動において幼児の安全対策を整える。					
小学部			心身ともに健やかな集団生活を送る環境を整え、コミュニケーション力の向上を図り、学習意欲を高める。		(19) 児童(重複学級児童、特に医ケア対象児童)の安全を確保できる協力体制を整える。 (20) 児童の望ましい生活態度・学習態度を適宜評価し、保護者と連携する。 (21) 学習の定着を図るため、配慮事項や具体的な手立ての取組を確認し合う。 (22) 友達と主体的に関わったり、関わり方を考えさせたりする機会を計画的に設定する。			
					中学部	生徒の学力・書記日本語力・聴覚管理力・コミュニケーション力の向上を図るための体制づくりや各方面の情報提供・管理に努める。		(23) 自立活動に学級の時間を設け、日本語指導・聴覚学習等の充実・深化を図る。 (24) 部活動顧問の少人数化と組織化を図り、方針や練習計画等の情報共有に努める。 (25) 朝の連絡会や授業の時間厳守及び教科外活動の時間設定を工夫し、授業時間を確保する。 (26) 行事毎に担当者がファイルを準備して資料の収集・保管を行い、記録を蓄積する。